

平成29年度職務経験者 8人が入庁

～自立した津市に向けて～



平成29年4月4日

職務経験者採用の背景

津市へのU・I・Jターン就職や転職の実現

年齢制限のないキャリアの選択

パブリックサービスへのキャリア転向

採用の多様性を実現

津市におけるメリット

- ① 即戦力としての活躍
- ② 複雑・多様化する行政ニーズへの対応
- ③ 組織力の強化・組織風土の活性化
- ④ 技術力の向上
- ⑤ 民間の発想の導入

市民サービスの
さらなる向上

計35人を採用

3年間の採用者359人のうち約1割が職務経験者採用

職務経験者採用の申込者数・採用者数等の状況

	募集職種	採用予定人数	申込者数	志願者倍率	採用者数	実質倍率
平成27年度	事務職	5人程度	402人	80.4倍	11人	36.5倍
	技術職(土木)	2人程度	27人	13.5倍	2人	13.5倍
	技術職(建築)	1人程度	16人	16倍	2人	8倍
平成28年度	事務職	3人程度	212人	70.6倍	6人	35.3倍
	技術職(土木)	1人程度	23人	23倍	5人	4.6倍
	看護師	2人程度	5人	2.5倍	1人	5倍
平成29年度	事務職	3人程度	177人	59倍	4人	44.2倍
	技術職(土木)	2人程度	12人	6倍	1人	12倍
	技術職(建築)	1人程度	5人	5倍	1人	5倍
	看護師	1人程度	6人	6倍	2人	3倍

平成29年度採用者の状況

計8人

出身地

市内3人、市外(県内在住)2人、
東京都1人、愛知県1人、大阪府1人

年齢

32歳～58歳

性別

男性4人
女性4人

平成28年度採用職務経験者の実績【事務職】

具体例①

広報課

配置職員の職歴

ケーブルTVでの番組制作等

具体的な職務内容等

広報用映像制作

「道の駅津かわげ」での津市紹介映像
など、市民が集う施設での
プロモーションに能力を発揮

行政番組の制作

「ついいと！ツイート！」の職務経験者
採用特集を企画 自らも職務経験者
として情報発信に貢献



制作番組の企画

職務経験を生かし、映像のプロとして番組制作に携わるだけでなく、音声加工技術などにより高齢者の視聴に配慮した取組みを進めるなど、技術と意識を他のスタッフにも伝承中

平成28年度採用職務経験者の実績【事務職】

具体例②

観光振興課

配置職員の職歴

旅行代理店での
旅行企画・営業

具体的な職務内容等

旅行会社に対してツアー企画の新規
導入提案



津市の魅力をコンテンツにした旅行企画
(美杉地域のハイキング)をパッケージ
ツアーに導入して頂くための**新規開拓**を
展開

新規開拓営業によるツアー企画の
売込みという新しいスタイルでの
魅力の発信を行った

平成28年度採用職務経験者の実績【事務職】

具体例③

人事課



セミナー風景



研修風景

民間企業の発想と
市役所の公務の融合を図る

配置職員の職歴

人材会社での個人と企業への
人材開発・採用支援

具体的な職務内容等

採用活動のノウハウ展開

- ▶ 職務経験者採用において、書類・面接選考時の評価方法等、採用に関するノウハウの展開
- ▶ 就活セミナーでの津市役所の紹介、及び参加民間企業との情報交換などの交流

職務経験者のスキルを活用した研修展開

- ▶ 階層別研修での市長と職員意見交換のコーディネート
- ▶ 様々な公開座談会の実施により、職務経験者職員の民間の発想の浸透に貢献

実施事例 → 「市長と職務経験者座談会」、「27年・28年入庁職務経験者座談会」、「職務経験者と職員の座談会」等

平成28年度採用職務経験者の実績【技術職】

具体例④

建設整備課

工事現場を熟知【即戦力】

配置職員の職歴

橋梁メーカーで土木施工管理

資格 一級土木施工管理技士

職務内容等

採用1年目で、下之川バイパス関連工事の担当者として、物件調査、用地買収、予備設計の段階に入っており、今後、詳細設計、工事着手へ進んでいく予定

具体例⑤

職務経験者技術職員と若手職員との座談会

道路、河川、橋梁、下水道等、民間企業において様々な分野で現場を経験してきた技術職員

職務経験者職員が民間企業で培ってきた技術・経験を伝承することにより、技術職員の資質、技術力の向上に寄与

座談会の様子



平成29年度職務経験者採用者の配属

職務経験・能力を生かせるよう配属先を決定（計8人）

職務経験・能力	配属先	職務経験・能力	配属先
事務職 土地測量・買収業務	危機管理課	技術職(土木) 橋梁・護岸・道路 工事等の施工管理	津北工事事務所
事務職 人材育成・人材開発等	人事課	技術職(建築) 住宅・事務所等の 設計・施工管理	営繕課
事務職 金融機関等(営業・コンサル)	経営支援課 ((兼)ビジネスサポートセンター)	看護師 総合病院等勤務	地域医療推進室 (2名)
事務職 海外特許事務等	教育研究支援課		

受験に必要な資格

技術職（土木）… 一級土木施工管理技士又は
二級土木施工管理技士

技術職（建築）… 一級建築士又は二級建築士
看護師… 看護師免許

職務経験者採用から得られたもの

平成27年度から職務経験者採用を実施（3年目）
現在、**33人**の職務経験者が**11部22課**に所属

変わりゆく市役所の組織風土

市民サービスの向上

地域の活性化・発展

自立した都市へ

平成29年度も職務経験者採用試験を実施

平成30年度採用予定

観音寺地区放課後児童クラブ 「どんぐり会」を移転整備



平成29年4月4日

観音寺どんぐり会の施設について

津市

観音寺保育園

延床面積

461.04㎡

所在地

観音寺町604番地74

構造

鉄筋コンクリート造
築45年（昭和46年4月新築）



観音寺地区放課後児童クラブ

観音寺どんぐり会

延床面積

36.36㎡

昭和46年4月から観音寺保育園内の
津公園団地自治会スペースを借用



観音寺どんぐり会の利用児童について

津市

学校別利用児童の推移

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
附属小学校	27人	26人	29人	41人	41人	34人
安東小学校	5人	7人	6人	5人	5人	8人
西が丘小学校	1人	3人	3人	2人	1人	1人
南立誠小学校	3人	2人	3人	4人	1人	1人
養正小学校	1人	1人	1人	2人	1人	1人
市立小学校計	10人	13人	13人	13人	8人	11人
合計	37人	39人	42人	54人	49人	45人
附属小学校 の割合(%)	73.0%	66.7%	69.0%	75.9%	83.7%	75.6%
津市立学校 の割合(%)	27.0%	33.3%	31.0%	24.1%	16.3%	24.4%

平成28年利用児童数

学年	人数
1年	9
2年	11
3年	12
4年	5
5年	2
6年	6
合計	45

課題1

施設の返還

津公園団地自治会からの返還要望

課題2

施設の狭あい化

1人当たりの専用区画面積0.62㎡

(利用児童数45名 保育スペース28㎡)

※目標:児童1人当たりにつき、概ね1.65㎡以上が望ましい

課題3

園児との施設共有

園庭が園児と小学生の共有使用となるため配慮が必要

津市公共施設等総合管理計画整備指針に基づき
新施設の整備のあり方を検討

放課後児童クラブに係る整備指針に基づく新施設の整備

津市

1 既存施設の改修整備

①小学校施設の
活用

②他の公共施設
の活用

③民間施設の
活用

2 既存施設を活用できない場合

新施設を整備

優先順位

総合的に勘案して決定

専用施設がない場合・狭あい化・老朽化

観音寺どんぐり会の移転新築を決定

三重大大学との連携により附属小学校敷地内に専用施設を新築

平成29年度：設計 平成30年度：建設 平成31年度：オープン

施設候補地決定の経緯

三重大学

平成28年
2月15日

観音寺どんぐり会から三重大学教育学部長及び
津市長へ要望書が提出される

平成28年
2月18日

三重大学教育学部長と津市教育長が三重大学と
津市の協働による観音寺どんぐり会移転についての
懇談を行う

平成28年
4月～12月

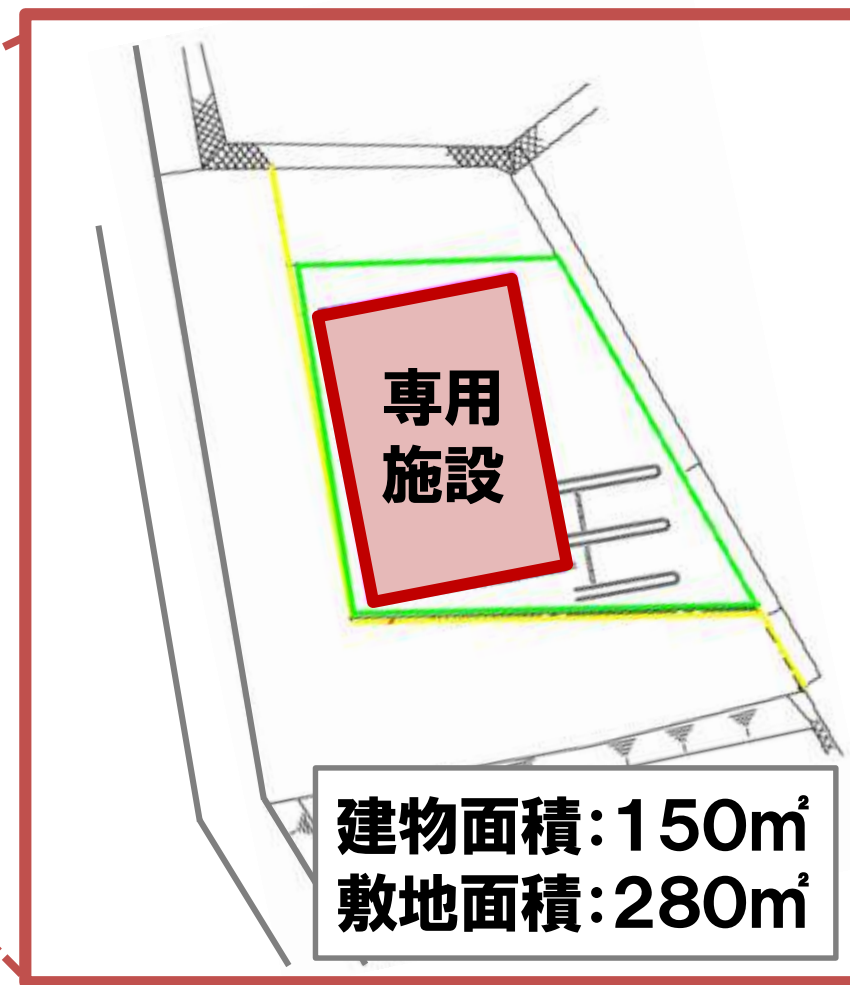
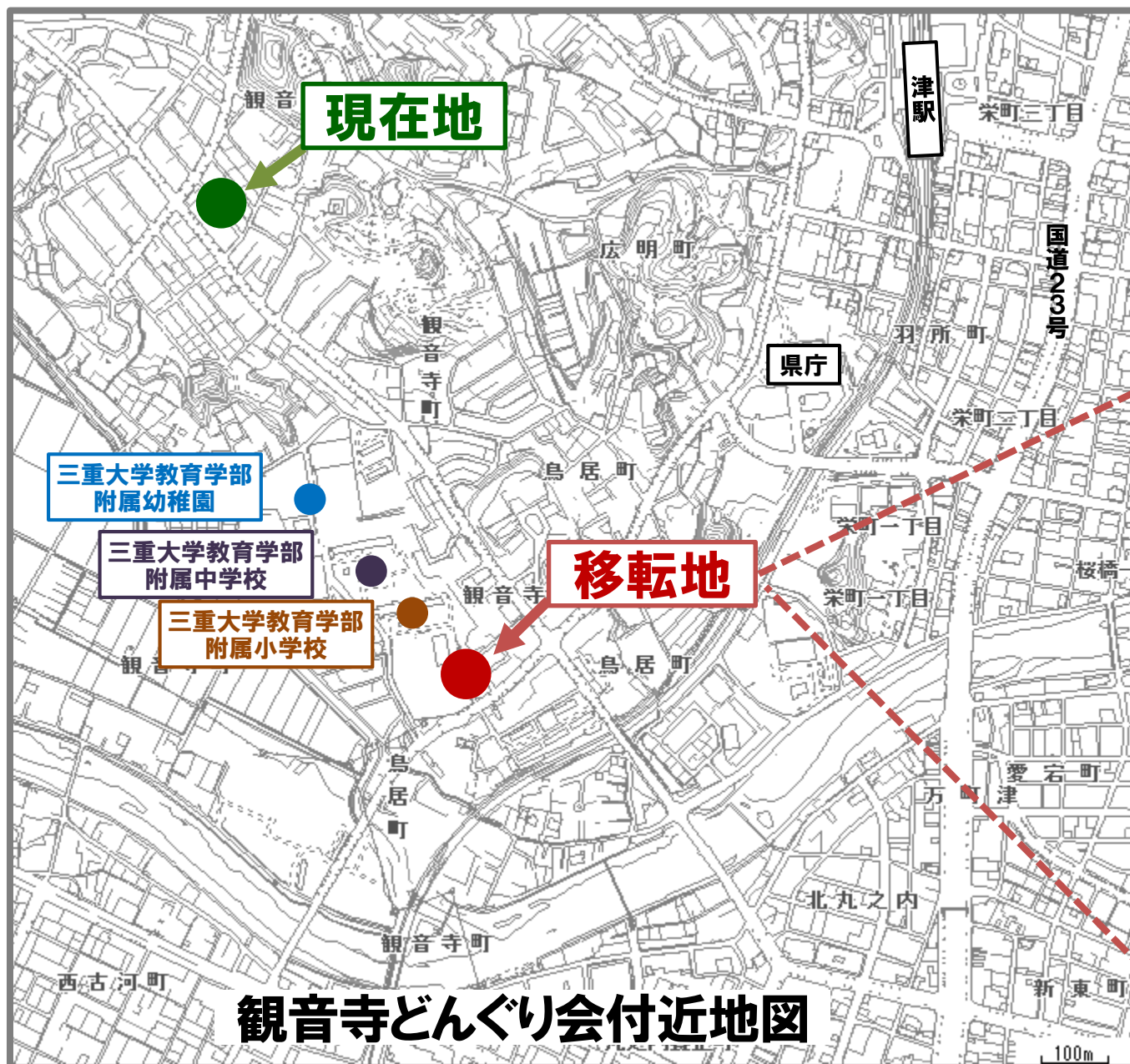
三重大学は附属学校敷地内での観音寺どんぐり会
施設候補地の検討を行う

平成28年
12月22日

三重大学は観音寺どんぐり会の施設候補地を決定
する

観音寺どんぐり会の現在地・移転地

津市



この点が全国初の取り組み

津市

国立大学法人での比較

	上越教育大学	東京学芸大学	三重大学
設置場所	上越教育大学 附属小学校図書館	東京学芸大学 学内のこどもモードハウス	三重大学 附属学校敷地内
建物設置者	上越教育大学	東京学芸大学	津市
運営者	公設公営 (上越市)	公設民営 (NPO法人東京学芸大学 子ども未来研究所)	公設民営 (保護者等の運営委員会)
対象児童	附属小学校に通学する児童 (1年生～6年生)約30名	附属小学校に通学する児童 (1年生～3年生)約30名	市立小学校に通学する児童 附属小学校に通学する児童 (1年生～6年生)約70名

今後のスケジュール

津市

施行者	内容	平成29年度				平成30年度			
三重大学	附属学校 園芸資材庫 撤去								
		6月～12月							
津市	地質調査								
	設計等								
	造成								
	新築								

平成31年4月オープン

総事業費

約7,000万円（予定）（子ども・子育て支援交付金・合併特例事業債を活用）

平成29年度当初予算に新築に係る設計費等 735万円を計上

英語教育推進計画

～津市から世界にはばたく子どもたちを～

新学習指導要領を**2年前倒し**で先行実施



平成29年4月4日

平成32年度から新学習指導要領を本格実施 ～小学校～

改革の 骨子

- 小学校での「外国語活動」の低学年化
（現行の5・6年生スタート⇒3・4年生スタートへ）
- 5・6年生では英語が教科化「中央教育審議会 答申」（平成28年12月21日）

津市では平成30年度から “2年前倒し” で先行実施

平成29年度から体制構築へ

	体制構築		先行実施		本格実施
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
3・4年生			外国語活動 35	外国語活動 35	外国語活動 35
5・6年生	外国語活動 35	外国語活動 35	英語教科 70	英語教科 70	英語教科 70

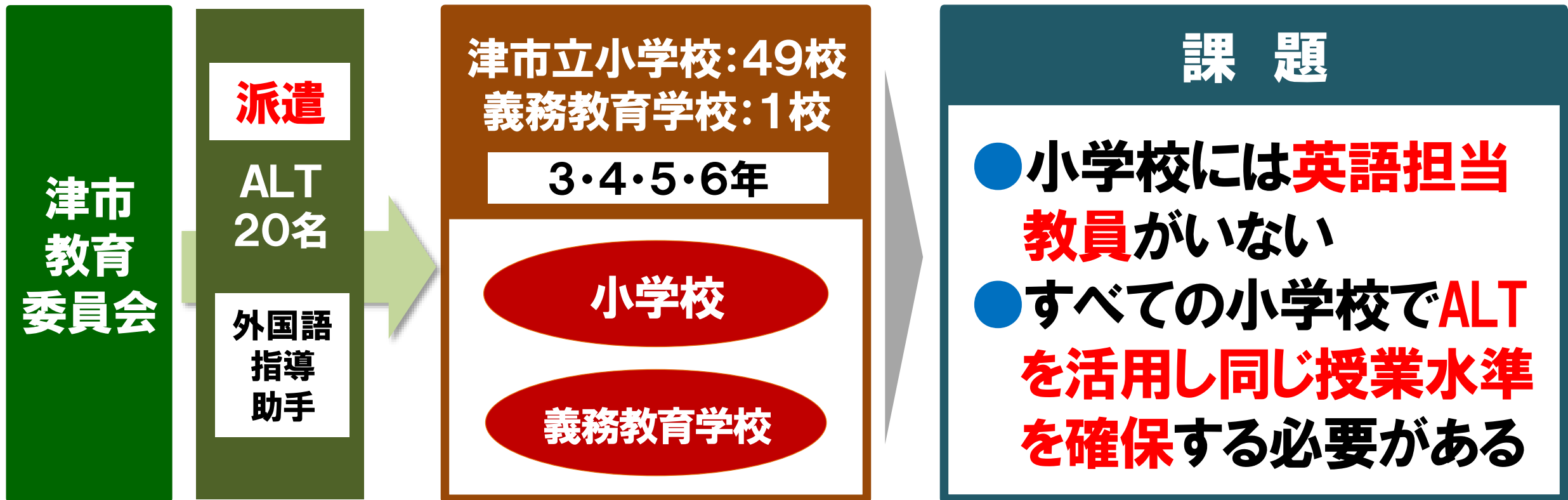
35 70 = 授業時間数(年間)

本格実施を平成32年度から導入すると

津市教育委員会

外国語活動・英語教科時間の増加で、教育現場での混乱が予想される

現行の指導体制

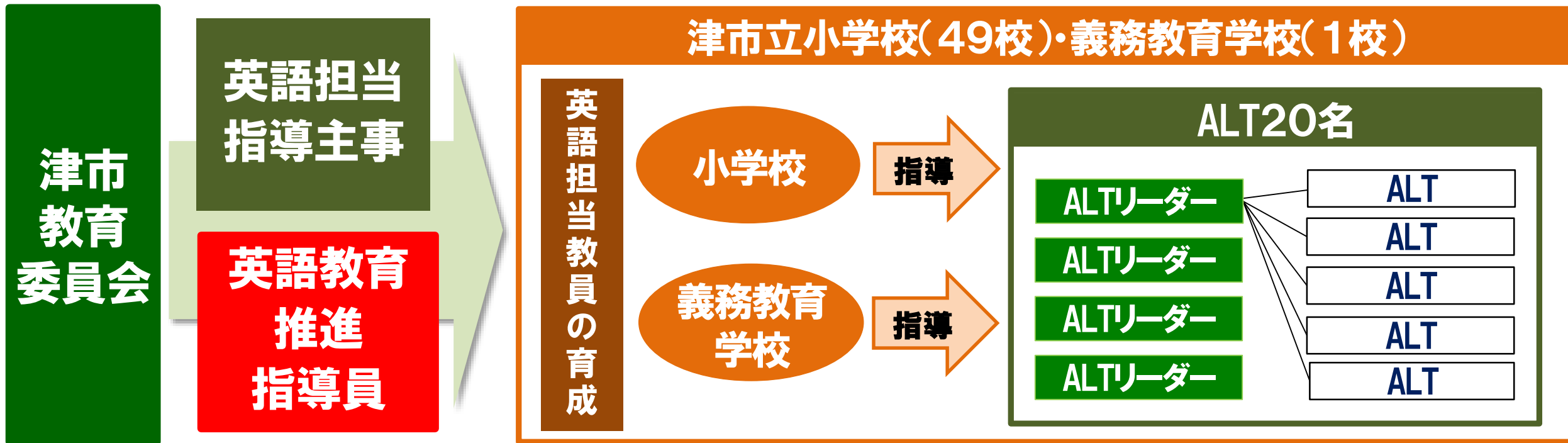


各小学校に**ALT**を指導できる**英語担当教員**を育成することが必須

平成32年度までに小学校での英語教育の体制構築

津市教育委員会

新指導体制



●小学校に**英語担当教員**を配置

●**英語教育推進指導員のマンツーマンの指導**による小学校教員への英語授業力の育成、授業方法・教材研究の確立、教科としての英語カリキュラムの提示

●小学校教員主導、ALT助手の**協働授業の水準向上**

●中学校では、英語スピーキング力向上にむけ、英語授業を英語で行う取組

英語教育推進プラン

インターナショナル・スカイプ交流事業の継続

西橋内中学校 ⇄ ペノラ・ハイスクール(オーストラリア)
修成小学校 ⇄ オパヘケ・スクール(ニュージーランド)
豊が丘小学校 ⇄ カナダ・イギリス出身のALT

平成29年度も小中学校で海外やALTとのスカイプ交流を実施



西橋内中学校

小学校英語指導力向上研修

各校より英語教育推進の中心となる英語担当教員を選出し、デジタル教材などのICTを活用した授業を含む、英語授業力の向上を目指した**津市独自の研修**を実施

平成29年度・・・14回実施予定



デジタル教材を使った授業

セントヨゼフ女子学園との英語教育に係る連携

児童生徒の交流

セントヨゼフ女子学園の生徒が、津市立小中学校・義務教育学校の児童生徒と英語で交流を行う

(例)

- 筆記体で名前を書く体験
- 留学・海外交流の紹介
- スカイプ交流 など

イベントへの参加

- セントヨゼフ女子学園で開催される英語関連イベントに津市立小中学校・義務教育学校の児童生徒が積極的に参加できるよう体制を整える
- 既にイベントに参加し実績を出している津市立小中学校での手法を他小中学校・義務教育学校でも展開する
(例:津市長杯スピーチコンテスト)

授業マニュアル作成

平成32年度の英語教科化に向け、津市立小学校・義務教育学校(前期教育課程)で活用できる英語科の授業マニュアルを作成する際にセントヨゼフ女子学園の英語授業アイデアを取り入れる

教職員・ALTの交流

- セントヨゼフ女子学園での英語授業を、津市立小中学校・義務教育学校の英語教員等が見学できる機会をつくる
- セントヨゼフ女子学園の外国人英語教諭と津市ALTが英語授業につき交流できる機会をつくる

児童生徒の
**興味
関心
やる気**

教員
ALTの
**英語
授業力**

セント
ヨゼフ
女子学園

高等学校
中学校

津市立
小学校
中学校
義務教育
学校

セントヨゼフ女子学園との連携協力協定調印式

津市

日時

平成29年4月12日(水) 13時から

場所

庁議室（市本庁舎4階）

出席者

【セントヨゼフ女子学園】
理事長 中津 幹

【津市】
津市長 前葉泰幸



セントヨゼフ女子学園高等学校・中学校



市立小・中学校、義務教育学校

**地域との対話を継続し
課題解決をさらに進めます**

**平成29年度地域懇談会
4月12日スタート**

平成29年4月4日

これまでの地域懇談会の開催概要①

市内37地区で、これまでに108回実施

ポイント

- ① 内容に制限をつけずに、地域から広く意見、要望を伺う
- ② 事前聞き取りを行わない
- ③ いただいた課題・要望を曖昧にしない
- ④ 懇談後のフォローアップの実施

	第1期	第2期	第3期
地域で活動する団体の 代表者と懇談	281人	273人	257人
傍聴者数	948人	642人	596人
傍聴による発言者	102人	126人	108人

これまでの地域懇談会の開催概要②

	第1期	第2期	第3期
課題数 (延べ数)	1,039件	357件 (1,396件)	457件 (1,853件)
地区あたり 平均課題数 (延べ数)	28件	10件 (38件)	12件 (50件)

地域懇談会における課題への対応状況

市で対応 ・方向性が 決定した 課題	地域ごとの課題	小中学校等教育施設の小規模修繕	
		歩行部分の確保やカラー舗装等通学路の安全確保	
	広域の課題	小中学校へのエアコン設置	
		緊急告知ラジオの貸与	
		高齢者の外出支援	
		小動物に対する獣害対策	
整理・調整 する課題		広域避難	浸水対策
		地域コミュニティ施設整備	防犯カメラ設置支援

地域懇談会 課題解決に向けてのサイクル

地域懇談会
開催

これまでの
要望・課題

新たな
要望・課題

地域の
意向を
踏まえ
調整・
整理

報告

次回
報告

提 案

市としての
方向性

今後の
見通し

修正案・
代替案

再調整

合意

実施・対応

課題解決

平成29年4月の開催日程

延べ回数	地区	開催日	開催時間	会場
109	豊が丘地区	4月12日(水)	18:30～20:00	豊が丘自治会集会所
110	北立誠地区	4月15日(土)	15:30～17:00	北立誠小学校会議室
111	美里地区	4月20日(木)	18:30～20:00	美里社会福祉センター
112	榊原地区	4月23日(日)	14:00～15:30	榊原小学校体育館
113	美杉地区	4月27日(木)	18:30～20:00	美杉総合文化センター

※平成29年10月まで市内37カ所で順次開催。開催日程は前月中旬に順次発表